

2016年4月13日

新CM「みんなのヤクルト」シリーズがスタート

豪華タレント陣で送る「ヤクルトを飲み続けたくなる」テレビCM

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、当社契約タレント5名を起用した「ヤクルト400」および「Newヤクルト」の新テレビCM「みんなのヤクルト：菌数」篇（15秒）、「みんなのヤクルト：トクホ」篇（15秒）を4月21日から放送します。

「タフマン」の広告でおなじみの伊東四朗さん、ヤクルトレディの広告に出演した大泉洋さんと藤井美菜さん、「ジョア」のイメージキャラクターの剛力彩芽さん、そして、「ミルージュ」の広告に出演した川口春奈さんが登場し、「みんなのヤクルト」をメインテーマに商品の魅力を視聴者にお届けします。



【広告の目的】

「飲んでてよかった」ヤクルト飲用の利点を訴求

日頃からヤクルト（「ヤクルト400」および「Newヤクルト」など）を愛飲しているお客さまに向け、「やっぱり飲んでてよかった」と思っていたいただける利点を伝えることを目的としています。また、「ためしに飲んでみようかしら」と新規のお客さまのトライアルも促進するために、当社契約タレントをフルに活用し、認知・理解の促進を図ります。

【広告の特徴①】

タレントたちがリレーで繋ぐ「ヤクルトを続ける理由」

ユーザー役の出演者たちが、それぞれの年代、性別、個性を活かした設定で幅広い層のお客さまに共感性の高いメッセージをお届けします。

【広告の特徴②】

「ヤクルトレディ」のテレビCMと連動した相乗効果

出演者の設定は4月15日からオンエアスタートの「ヤクルトレディ」CMと連動しています。工務店の棟梁である伊東さん。その孫娘で大学生の川口さん。川口さんの姉でヤクルトレディの藤井さんなど。2つのCMの設定を共通にすることで、さらなる認知度アップを狙います。

■シリーズ各テーマ

「菌 数」：400億個もの「乳酸菌 シロタ株」が「ヤクルト400」の中には生きていることをメッセージします。

「トクホ」：良い菌を増やして悪い菌を減らし、腸内環境を整えおなかの調子を整えることができる特定保健用食品の「ヤクルト400」の特長を端的に伝えます。

■撮影「裏」話

ちょっと不思議なセット

セットの設定は「縁側」「おもちゃメーカーオフィス」「おうちのリビング」「設計事務所の社内」と、ヤクルトレディCMの設定にあわせたものになっています。しかし、このセット、よく見ると少し不思議。出演者をセンターに「シンメトリー」つまり左右対称になるようにつくられています。冷蔵庫に貼られたメモや、基石の配置、時計の針まで、すべてが鏡にうつしたように対称になっています。これは、中央に立つ出演者により注意をひきつけるための工夫。次から次へと背景が変わる中、メッセージが散漫にならないようにとの配慮から生まれた演出です。



メイキングショット



■出演者プロフィール

伊東四朗(いとう しろ)さん



1937年東京都生まれ。78歳。58年に軽演劇の石井均率いる劇団「笑う仲間」に参加し浅草松竹演芸場でデビュー。61年に三波伸介、戸塚睦夫と「ぐうたらトリオ」を結成。62年には「てんぷくトリオ」と改名。65年の日本テレビ『九ちゃん!』でレギュラーに抜擢される。75年のTBS『笑って!笑って!60分』では小松政夫演じる「小松の親分さん」との絶妙な掛け合いを見せる。76年のテレビ朝日『みごろ!たべごろ!笑いごろ!!』では、「ベンジャミン伊東」の名で唄い踊ったバカバカしい「電線音頭」で世間を騒がす。83年にはNHK連続テレビ小説『おしん』のシリアスな父親役を演じる。以後も多数のテレビドラマ・映画・クイズ番組や歌番組の司会、そして、ラジオのパーソナリティーとしても多彩ぶりを発揮している。八面六臂の活躍の一方で、「笑い」にこだわった舞台を創りだしている。97年三宅裕司とコントライブ『いい加減にしてみました』(2002、2010にも上演)。04年には「伊東四朗一座旗揚げ解散公演」を上演。好評を博す。現在不定期ではあるが、年一回は舞台に出演。“喜劇役者としてのこだわり”を持ち続けている。

大泉洋(おおいずみ よう)さん



1973年4月3日、北海道生まれ。
北海道発の深夜番組「水曜どうでしょう」(HTB)でブレイク。
演劇ユニット“TEAM NACS”メンバーとして、舞台公演で大人気を博すほか、映画・TVドラマにも続々出演。
主な映画出演作に「探偵はBARにいる」シリーズ(11)(13)「しあわせのパン」(12)「清須会議」(13)「青天の霹靂」(14)「駆込み女と駆出し男」(15)「アイムアヒーロー」(16)など。
TVドラマに「ハケンの品格」(07/NTV)「ラッキーセブン」(12/CX)「地の塩」(14/WOWOW)「まれ」(15/NHK)「真田丸」(16/NHK)など。

剛力彩芽(ごうりき あやめ)さん



1992年8月27日生まれ。神奈川県出身。

ドラマ、広告、映画などで幅広く活躍中。

2016年春放送の松本清張特別企画『喪失の儀礼』（テレビ東京）に刑事役で出演。

また、『奇跡体験！アンビリバボー』（CX系）など複数の番組でMCを務めるほか、4枚のシングルをリリースするなど歌手としても活動中。

4月より読売テレビ・日本テレビ系列主演ドラマ【ドクターカー】が放送スタート。

川口春奈(かわぐち はるな)さん



1995年2月10日生まれ。長崎県出身。ニコラモデルオーディションでグランプリを受賞し、芸能活動を開始。2009年のフジテレビ月9ドラマ「東京 DOGS」で女優デビュー。2010年、雑誌「日経トレンドイが選ぶ今年の顔」に選ばれた。2011年には第90回全国高校サッカー選手権大会の7代目応援マネージャー（イメージガール）に就任。2012年、「桜蘭高校ホスト部」で映画初主演。以後、映画やドラマ・CM・舞台など幅広く活躍中。2016年、映画「クリーピー」、「にがくてあまい」、2017年には映画「一週間フレンズ」が公開予定。

藤井美菜(ふじい みな)さん



2006年「シムソング」（佐藤祐市監督）で映画デビューし、本格的に芸能活動を開始。同年には第88回全国高等学校野球選手権大会の朝日新聞のポスター及び「ビクター・甲子園ポスター」キャンペーンのイメージキャラクターに抜擢されるなどし、話題を集める。その後、ドラマ「ブラッディ・マンディ」シリーズ（TBS）、映画「武士の家計簿」（森田芳光監督）、「女子-ズ」（福田雄一監督）など、映画、ドラマを中心に活躍。2012年、韓国でも活動を開始し、2013年、「富川国際ファンタスティック映画祭」広報大使、連続ドラマ出演など活動の幅を広げ、国際的にも高い人気を博している。2016年、出演映画『猟奇的な二番目の彼女（仮）』（チョ・グンシク監督）がアジア各国で公開、秋には、映画『デスノート 2016（仮）』が公開予定。